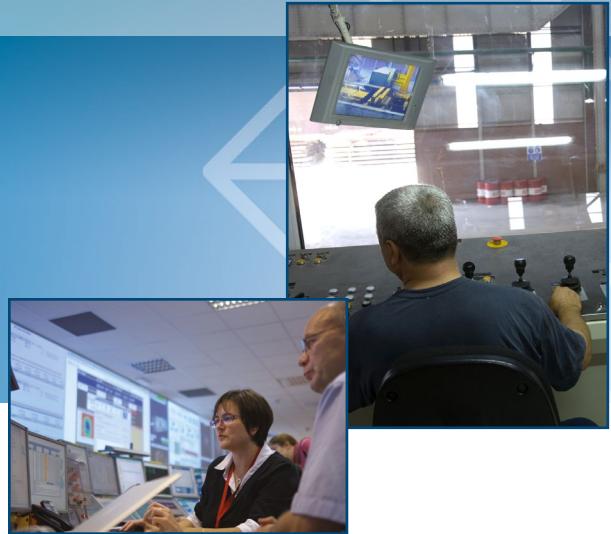


KVM

産業環境

オンラインのあらゆるコンピュータシステム
を監視しアクセス。



石油会社は、キャンパスの複数の建物からユーザがコンピュータとサーバにアクセスできるような、ビデオや周辺機器のマトリックススイッチングと延長システムを必要としていました。

課題

複数の建物が、本館ビルのユーザがアクセスする必要がある、ハイエンドの監視コンピュータシステムを収容していました。

ソリューション

ブラックボックスのプロジェクトエンジニアやプロダクトマネージャが会社を訪問しヒアリングした後、DKM FXスイッチング・システムを提案しました。ユーザが対象のコンピュータに接続して共有できるよう、DKM FXのシステムは、マルチユーザーアプリケーションのための適切なハードウェアで構成されています。

DKM FXは同じシャーシ上の異なるポートを介して同時に光ファイバケーブルとCATxケーブルに接続することができますので、DKM FXはキャンパスの建物間を通して延長システムとして理想的です。DKM FXシステムにより、グランド・ループや落雷から保護し、建物の間で使用できる光ファイバの延長が可能です。ネットワークオペレーションセンター（NOC）を収容する本館は、標準のCAT6銅線ケーブルを使用していました。

このキャンパスの分散システムは、このクライアントのために特別にブラックボックスによって設計されました。DKM FXシステムの多くの利点のうちの二つは、柔軟性と拡張性です。スイッチ、カード、トランスマッタとレシーバ、およびシャーシのシステムは、各アプリケーションとクライアント向けの独自の設定を追加し、クライアントの成長に対応するための構成を簡単に実現することができます。

この設定では、80ポートDKM FXは、8ポート銅線およびファイバのI/Oカードの組み合わせにより設置しました。これらのカードは、キャンパス内でDKM FXのトランスマッタとレシーバに接続されています。本館のNOCユーザは、キャンパス内のあらゆるコンピュータを選択、閲覧、制御することができます。事業（石油掘削・抽出装置を監視）のミッションクリティカルな性質上、コンポーネントはシステムの冗長性を確保するためのフェイル・セーフの電源を有していることが推奨されました。

このシステムの複数のユーザが簡単にNOCのコンピュータにアクセスするため、キャンパス内の任意のユーザステーションにログインすることができます。NOCから、ユーザはコンピュータ、サーバ、およびDKMのFXシステムに接続されたコンピュータ制御によるシステムに対し、監視、閲覧、制御を行えます。ユーザは遅延無く、また距離に関係なく、コンピュータ間、建物間を切り替えることができます。